

## 業務内容説明書

## 1 業務目的

本業務委託については、都市計画道路高倉遠藤線の4車線化に伴うBRTの機能強化（定時性の確保、速達性及び利便性の向上、輸送力強化、高質化など）の検討、及びBRTを当面の基幹交通と位置づけ、現在の課題解消から将来の機能充実（インフラ整備、車両・技術の導入、サービス拡充等）に至る段階的なロードマップを、基本構想として取りまとめることを目的とする。

## 2 業務内容

## (1) いずみ野線延伸地域の都市・交通課題の整理

発注者が貸与する令和7年度業務委託成果及び神奈川県が実施した委託成果（交通量調査、BRTの遅延要因分析及び周辺道路の混雑要因分析）を参考にして、いずみ野線延伸地域における都市・交通課題を整理する。

## (2) いずみ野線延伸検討地域へのBRT機能強化の基本方針の設定

いずみ野線延伸計画やその他の上位・関連計画をもとに、いずみ野線延伸地域の交通が目指す将来像を整理する。そのうえで、(1)で整理した課題を踏まえて、当該路線を対象とするニーズ、BRT導入が必要となる路線の区間、期待する導入効果（目的）などの基本方針を設定する。

## (3) サービスレベルの設定

(2)の基本方針に基づき、機能要件やサービスレベルを設定する。検討項目としては、輸送力や頻度、アクセシビリティ（2次交通の想定やモビリティハブ・停留所など周辺インフラの整備・連携を含む）の設定などを想定する。将来人口推計、経済の予測、環境への影響、社会ニーズの多様化、技術の進化などの社会情勢の変化を多角的・広域的な視点で分析し、藤沢市における将来展望の予測をする。

## (4) 必要となる施策・施設整備の洗い出し

(3)のサービスレベルを満たす優先レーンや利便性・快適性の向上及び高質化につながる施設等の導入可能な施策や施設整備を検討する。また、都市計画道路高倉遠藤線の4車線から2車線への車線減少（擦り付け）区間における速度低下を抑制するため、簡易シミュレーション等を用いた具体的な交通運用手法や実効性の高い対策案の提示についても検討を行う。

## (5) ロードマップの作成

(1)から(4)までの検討結果に基づき、公共交通ネットワークの成熟に向けた段階的な施策展開案（ロードマップ）を作成する。作成にあたっては、次の点に留意すること。

## 1) 段階的な施策展開の整理

鉄道延伸時を中期とし、短期・長期の時間軸を設定し、走行環境の整備、車両・技術の高度化、サービス拡充等の優先順位を整理する。

2) 社会情勢の変化への対応

運転手不足への対応（運行効率化）や将来的な技術革新（自動運転・EV等）を見据えた、持続可能な交通システムの進化の道筋を検討する。

3) 実現可能性の検証

各施策の実施主体や概算事業費の整理を行い、実効性のある推進体制のあり方を検討する。

(6) 基本構想の作成

(1) から (5) までの内容を踏まえ、項目を整理し、基本構想を作成する。

(7) 打合せ協議

打合せ協議は作業の進捗に合わせて適宜行うものとする。また、打合せ後、受託者は速やかに協議録を作成し、発注者に提出する。

3 成果品

本業務の成果品は、次のとおりとする。

(1) 業務委託報告書 2部（キングファイル閉じ カラー A4サイズ）

(2) 原稿及び電子データ 一式（電子データは、CD-R等で提出）

なお、成果品の提出にあたっては、最新のウイルスパターンファイルでのウイルスチェックを実行し、CD-R等のラベルに実行した日時、パターンファイル名を明記すること。（電子データについては、ウイルス検査済証を添付すること。）

成果品の納品場所は、藤沢市計画建築部都市計画課とする。

以 上